

市民活動支援センターからの発信

私たちは、日々いろいろな方々と共に、ボランティア・市民活動に関する取り組みを行っています。その中で、センター・コーナーのコーディネーターが感じたことや、みなさんに知ってほしい活動を紹介します。

春
浅

小島町コーナー 送迎ボランティア

卒業式のシーズンになってきました。

登下校の時、付き添いが必要な児童生徒の送迎に、親御さんに代わってボランティアが付き添う、小島町コーナーではこの『送迎ボランティア』の支援が長く続いています。

送迎ボランティアと一緒に登校していた高校3年生男子が、この3月学校を卒業します。今の支援者は3名。長い関わりの中で、彼の成長をみなさんと喜び、気になる行動が見られると、「どうして?!」と悩み、その都度一緒に一喜一憂してきました。

「改めて子育てさせてもらっているようです」と語る方もいらっしゃいます。「自分が子育てしている時、こんな気持ちで子どもに接していたらよかった」と思うこともしばしば。みなさんとこの時を共有することができ、本当に自分にとって素敵な経験をさせていただきました。卒業していく彼とそのご家族、また支援してくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。『わが子の卒業式』の気持ちで、みなさんと3月、この日を迎えます。

(さとう)



交通指導員さんに、「おはようございます！」

染地コーナー ちょっとステキなお茶会のお話

染地コーナーは開設して27年。その開設当初から活動している『小さな手』は、『八雲苑』からの依頼で浴用タオルを清拭に仕上げる活動をしています。一昨年、メンバーが3名となってしまう、新しい仲間を募り、5名応募がありました。活動の楽しみは、1針1針縫いながらの楽しいおしゃべりと、最後のお茶タイム。しかしその楽しみも、コロナ渦にあっては

自粛モードに。ひたすら清拭を縫うだけの活動となっていました。「新しいメンバーは継続してくれるだろうか？」と不安に感じそっと見持っている中、「年末にちょっと交流会をしませんか？」と声があがり、ささやかなお茶会を開くこととなりました。

お茶会当日、会場へ伺ってみると……。テーブルの上には、『着物をリメイクしたティッシュボックスカバーにエコバッグ』『クロスステッチの可愛いクリスマス小物』そしてアフタヌーンティーを彷彿させる『3種類のケーキ』（お持ち帰りの袋を添えて）。それは目を見張るものばかり。みなさんのお人なりが手に取るように伝わって！そして何より、『小さな手』の中にそれぞれが居場所を見つけましたよ！と言っているかのようで、とっても嬉しいお茶会となりました。こんな時、いつも思うんです。「コーディネーターって素敵なお仕事だなあ〜」なんて。

(わたなべ)



大切な仲間の顔を浮かべてつくった、優しい作品